

にほんご
日本語4

Japanese 4

科目ナンバ－	(JE) LAN981J
科目名	日本語4（総合）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 この授業は、初級レベルの学習が終わった学習者が勉強するクラスです。初級で学んだ文法や語彙・漢字を正しく使えること、そして、日本語の「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく高め、自信を持って日本語でコミュニケーションできることを目指します。CEFRのB1.1くらいの日本語レベルを目指します。また、教科書は『上級へのとびら』で、日本文化や社会がテーマになっていますので、授業では日本文化と自分の文化を比較し、違いを述べたり、自分の文化について説明したりします。日本語の知識や文法を学ぶだけではなく、日本文化や同じクラスの留学生の国や文化についても学び、自分の意見や感想を伝えられるように取り組みましょう。授業は、日本語で行い、3人の教員が担当します。 【到達目標】 1. 日本や日本文化について書かれた文章を読んで、理解することができる。 2. 自分の国についてまとめて話したり、日本と比較し、違いや自分の考えをまとめて話すことができる。 3. 教科書で学んだ語彙・漢字や文法を、理解し、使うことができる。また、初級レベルの語彙・漢字・文法の間違いを自分で直して、使えるようになる。

2. 授業内容 第1回：a. イントロダクション（授業についての説明）／b. 第1課『日本の地理』 第2-6回：第1課『日本の地理』 第7-13回：第2課『日本語のスピーチスタイル』 第14回：復習 第15回：a. 復習テスト（第1回）／b. 第3課『日本のテクノロジー』 第16-17回：第3課『日本のテクノロジー』 第18回：フィールドワーク 第19-21回：第3課『日本のテクノロジー』 第22-27回：第4課『日本のスポーツ』 第28回：復習 第29回：a. 復習テスト（第2回）／第5課『日本の食べ物』 第30-33回：第5課『日本の食べ物』 第34-39回：第6課『日本人と宗教』 第40回：a. 復習テスト（第3回）／b. クラス活動 第41-42回：クラス活動（プレゼンテーション）／振り返り ◆授業のスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。 ◆授業では、ペアやグループで勉強することがあります。日本語で話せるようになるために、授業では日本語で話す活動がたくさんあります。 ◆一人でするプレゼンテーションが、学期の最後に1回あります。

3. 履修上の注意 ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語4レベルにプレースされた人が履修（りしゅう）できます。 ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。
--

4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ◆授業がよくわかるように、予習（よしゅう）と復習（ふくしゅう）をしてください。 ◆予習（よしゅう）と復習（ふくしゅう）は30分～1時間くらい必要（ひつよう）です。 ・予習：進行表（しんこうひょう）を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。 教科書の文法の説明と例文を読む、小テストの準備（じゅんび）をする。 ・復習：宿題をする。その回に勉強した文法や語彙（ごい）をもう一度勉強する。 ◆『上級へのとびら』のWEBサイトには、オンラインで勉強できる無料（むりよう）コンテンツがあります。コンテンツを使って、自分で勉強しましょう。 上級へのとびらサイト：http://tobiraweb.9640.jp/
--

5. 教科書

- ◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』, 岡まゆみ 他著, (くろしお出版)
978-4-87424-447-0 C0081, 3,630円 (税込み)

6. 参考書

- ・授業の時、紹介(しょうかい)します。
- ・教科書といっしょに勉強できるワークブックもあります。
- 『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』, 岡まゆみ監修, くろしお出版
978-4-87424-487-6 C0081, 2,420円 (税込)
- 『上級へのとびら これで身につく文法力』, 筒井通雄監修, くろしお出版
978-4-87424-570-5 C0081, 2,420円 (税込)

7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji を使ったり、授業中にフィードバックをしたりします。

8. 成績評価の方法

- ◆評価対象と割合 (Grading and Evaluation)
 - ・復習テスト<3回>60%
 - ・平常点<小テスト, 課題(かだい)の提出, 授業への取り組み> 40%
- ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要(ひつよう)です。

9. その他

- ◆授業では、生活のためのコミュニケーション能力だけでなく、大学で勉強するための読解能力や語彙・表現能力なども勉強します。
- ◆日本語能力試験(JLPT)にもチャレンジしましょう。
- ◆授業のスケジュールや内容(ないよう)は、学生(がくせい)の人数や興味関心(きょうみかんしん)などに変わることがあります。
- ◆この授業では、フィールドワークやその準備があります。より深く日本文化や日本語を理解(りかい)する機会(きかい)として、積極的(せっきよくてき)に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4-1（読解）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【概要】 日本語レベル CEFR B1.1相当の学生を対象として、読解を中心に進めていく授業です。日本の食・芸術・文学・環境問題、先端科学技術などの様々なトピックスの読み物を読んでもいきます。これらの読み物を楽しく読みながら、クラスで意見交換をしていきます。 【到達目標】 - 日本に関する読み物について、初級で学んだ文型・語彙が使われたある程度まとまった内容の文章を読み、理解することができる。 - 様々なトピックスの読み物を通して、視野を広げ、考えを深めていくことができる。 - 読み物に関しての意見や感想を日本語で表現し、クラスメイトに伝えることができる。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、自分の好きな本について紹介する 第2回：Chapter1 Lesson1「たすきをつなぐ」 第3回：Chapter1 Lesson2「同じ釜の飯」 第4回：Chapter1 Lesson3「オバマ イン ヒロシマ」 第5回：Chapter2 Lesson1「もったいない」 第6回：Chapter2 Lesson3「奇跡の一本松」 第7回：Chapter3 Lesson1「今年の漢字」 第8回：Chapter3 Lesson3「人生は旅」 第9回：Chapter4 Lesson1「マンガから未来が見える」 第10回：Chapter4 Lesson2「無限に遊ぶ」 第11回：Chapter4 Lesson3「お化けは怖い？」 第12回：Chapter5 Lesson1「生涯現役」 第13回：Chapter5 Lesson2「森は生きている」 第14回：「もっと読んでみよう」、全体の振り返り	
3. 履修上の注意 ・プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・全ての授業でペアやグループワークを中心に進めていくので、積極的に取り組むことを期待します。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ・授業前に予習プリントや教科書にある「もっと読んでみよう」を読んでくる課題があります。 ・授業内の読み物に関した感想を書いて提出してもらいます。	
5. 教科書 『Reading Road 多様な日本を読む』、（くろしお出版）、公益社団法人 国際日本語普及協会（AJALT）著、2019年	
6. 参考書 必要があれば、授業時に紹介します。	
7. 課題に対するフィードバックの方法 ・予習プリントは、授業内で確認します。 ・授業後の感想は、一人一人にフィードバックします。	
8. 成績評価の方法 予習課題：40% 授業内課題：40% 平常点（授業への参加度、貢献度）：20% ※この授業の評価を得るためには、出席が2/3以上の出席が必要です。	

9.その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、変更の可能性あります。
- ・この授業は、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備をする可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4-2（読解・漢字）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【概要】 初中級の学生を対象として、漢字の読み書きを練習します。中級レベルの漢字学習に加え、既習である初級レベルの漢字も復習し、確実に身につけることを目指します。日常生活や大学での勉強に必要な日本語読解力や作文力を伸ばすためには漢字の運用能力は欠かせません。「読む」「書く」ことを中心に学びますが、漢字の語彙を増やすことにより、他の技能「話す」「聞く」ための能力も伸ばし、総合的に日本語運用力の向上を目指します。 【到達目標】 1. 街で見かける漢字や、大学の授業で短い説明文や簡単な資料を読む際に必要な漢字が読める。 2. 簡単な書類の記入に必要な漢字や、大学の授業で事実や自分の考えを短い文章で書く際に必要な漢字が書ける。 3. 買い物や交通機関の利用など日常生活を送る際に必要な漢字語彙や、大学の授業で事実や自分の考えを述べるのに必要な語彙を身につける。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、漢字既習度についてのレベルチェック 第2回：テキスト26課の練習 第3回：テキスト26課の小テスト、テキスト27課の練習 第4回：テキスト27課の小テスト、テキスト28課の練習 第5回：テキスト28課の小テスト、テキスト29課の練習 第6回：テキスト29課の小テスト、テキスト30課の練習 第7回：テキスト30課の小テスト、テキスト26～30課のまとめ、前半の講義の振り返り 第8回：テキスト31課の練習 第9回：テキスト31課の小テスト、テキスト32課の練習 第10回：テキスト32課の小テスト、テキスト33課の練習 第11回：テキスト33課の小テスト、テキスト34課の練習 第12回：テキスト34課の小テスト、テキスト35課の練習 第13回：テキスト35課の小テスト、テキスト36課の練習 第14回：テキスト36課の小テスト、テキスト31～36課のまとめ、講義全体の振り返り	
3. 履修上の注意 ・プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できますが、履修できるのは10人までです。初回到レベルチェックをして履修者を決定するので、必ず出席してください。 ・「日本語（総合）」でも漢字の小テストをします。「日本語（総合）」を履修する人は、漢字学習の負担が大きにならないように、よく考えてこの授業を履修してください。 ・授業内で教科書の「読み物」を読んだり、グループ・ペアで漢字の覚え方を紹介し合ったりする活動もするため、教科書の「読み練習」や「書き練習」が宿題になることもあります。宿題は必ずOh-o! Meijiに提出してください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ・授業前の予習として、教科書の「漢字の書き方」の練習をしてください。 ・授業後の復習として、30分～1時間、漢字や漢字語彙の読み書き練習を十分にしてください。また、練習した漢字や漢字語彙は、クラスの外で、日本語の文を書いたり日本語で交流したりする際にも積極的に使ってください。 ・街で見かけた漢字の意味や読み方を調べて授業で発表する、という課題が1回あります。	
5. 教科書 『【新版】BASIC KANJI BOOK ―基本漢字 500― Vol.2（第2版）』、（凡人社）、加納千恵子他著 ISBN：978-4-89358-974-3	
6. 参考書 『BASIC KANJI WORKBOOK 使って、身につく 漢字×語彙2』、（凡人社）、清水百合他著 ISBN：978-4-89358-756-5	
7. 課題に対するフィードバックの方法 ・小テストは、実施した後で個別に正答解説をします。 ・教科書の「読み練習」と「書き練習」は、授業内で個別に添削をします。宿題になった場合には、添削して、Oh-o! Meijiを通じて返却します。	

はっぴょうかだいじゆぎょうない 発表の課題は、授業内でコメントします。 だいかいだいかいじこひょうかもとこうひょうおこな 第7回と第14回に自己評価とそれに基づく講評を行います。
せいせきひょうかほうほう 8. 成績評価の方法 しょう 小テスト（40%），自己評価（中間，期末）（20%），課題（30%），平常点（授業への参加度，貢献度）（10%） じゆぎょうひょうかう ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。
た 9. その他 じゆぎょう ・授業のスケジュールおよび内容は変更の可能性があります。 じゆぎょうにほんごそうごうじゆんび ・この授業は、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4（口頭表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【概要】 この授業は、初級レベルの学習が終わった学習者が対象です。クラスでは、会話場面のロールプレイ、スピーチ、ディスカッション、プレゼンテーションなど「話す」活動を行います。モデル会話を聴いたり、関連資料を読んだり、話すためのメモを書くこともあります。また、シャドーイングや、会話をするとき役に立つ「ストラテジー（方略）」の練習を通じて、限られた日本語の力でも、コミュニケーションが進められるようになることを目指します。 基本的にこの授業は日本語で行います。 【到達目標】 ・自分に関係のある話題（国、習慣、文化、興味があること等）について、準備して、意見、感想、事実についてまとめて簡単に話すことができる。 ・留学生として日本に滞在中で遭遇する日本語使用場面で、日常的な会話ができる。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、自己紹介①（やりとり） 第2回：自己紹介②（スピーチ） 第3回：日常会話①（ロールプレイ）／スポーツについて聞く・話す① 第4回：日常会話②（ロールプレイ）／スポーツについて聞く・話す② 第5回：日常会話③（ロールプレイ）／料理、食生活について聞く・話す① 第6回：日常会話④（ロールプレイ）／料理、食生活について聞く・話す② 第7回：音楽について聞く・話す 第8回：マンガ・アニメ・ドラマ・映画について聞く・話す 第9回：「私の好きな_____」スピーチ準備 第10回：スピーチ交流会 第11回：プロジェクトワーク① 資料を読む、ディスカッション、 第12回：プロジェクトワーク② 資料を読む、ディスカッション、インタビュー、作品作り等 第13回：プロジェクトワーク③ 成果発表 第14回：プロジェクトワーク④ 成果発表、ふりかえり ◆授業スケジュールの詳細は、第1回目のイントロダクションで説明します。 ◆この授業では、ペアやグループで、日本語で話す時間が毎回あります。 ◆自分の発話をスマートフォン等で録音・録画し、振り返りを行うことがあります。 ◆スピーチ発表が少なくとも1回、プロジェクトワークの成果発表が1回あります。	
3. 履修上の注意 ◆プレースメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ◆口頭能力を高めるための授業ですので、クラスに積極的に参加し、発言することを求めます。 ◆クラスには、スマートフォンやタブレット等、音声試験、録音・録画ができるデバイスを持参してください。 ◆特別な理由がない限り、休まないでください。やむを得ず欠席する場合は、必ず、e-mail で連絡してください。また、Oh-o!Meiji等で当日の課題を確認し、次の授業までに取り組むようにしてください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ◆予習：トピック毎に配布することばリストをみて、ことばや表現を覚えてください。リスニングの宿題がある場合もあります。 ◆復習：授業での取り組みを振り返る課題を出します。また、ことばや表現の復習や話す練習をしてください（小テストで確認します）。 ◆スピーチやプロジェクト等の準備：基本的に授業時間に行いますが、時間内に終わらない場合は、授業時間外に行う必要があります。	
5. 教科書 ハンドアウトを配布します。指定教科書はありません。資料を整理するファイルを用意してください。	
6. 参考書 『シャドーイング 日本語を話そう・初～中級編』, (くろしお出版), 斎藤仁志 他 その他、必要に応じて資料を配布します。	
7. 課題に対するフィードバックの方法 フィードバックは、課題の提出方法に応じて、Oh-o!Meiji を利用する場合と、教室で行う場合とがあります。	

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

以下の点に基づき、総合的に判断します。試験は実施しません。

1. 平常点（授業への取り組み、小テスト、課題提出）50%
 2. 発表課題の内容（スピーチ発表、プロジェクトワーク成果発表）50%
- ・この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

た
9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修人数と、履修者の興味関心などにより変わることがあります。
- ・この授業では「日本語4（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語4（文章表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【概要】 ・初級文型の学習を終えたレベルの学生が対象です。 ・自分自身のことや自分に関係のある話題（自分の国、習慣、文化、興味のあることなど）について、初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って文章を書きます。 ・話しことばと書きことばの違いを学びます。それから、わかりやすい構成の説明文や、意見文を書きます。 【到達目標】 1. 日本語で、自分自身のことや、自分に関係のある話題について 400～600字の作文が書ける。 2. 初級で学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って、文章の構成や文体が整った作文が書ける。 3. 自分の意見や感想を理由とともに述べたり、また、事実や情報をまとめて述べた作文を書くことができる。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、ミニ作文作成 第2回：メールの書き方 第3回：テーマ①文体と書きことば 練習 第4回：テーマ①文体と書きことば アイディア整理／作文のルール1 第5回：テーマ①文体と書きことば フィードバック／書き直し 第6回：テーマ②説明文 アイディア整理／作文のルール2 第7回：テーマ②説明文 フィードバック／書き直し 第8回：テーマ③順番に説明する アイディア整理／作文のルール3 第9回：テーマ③順番に説明する フィードバック／書き直し 第10回：テーマ④比較して書く アイディア整理／作文のルール4 第11回：テーマ④比較して書く フィードバック／書き直し 第12回：テーマ⑤論理的に書く アイディア整理／作文のルール5 第13回：テーマ⑤論理的に書く フィードバック／書き直し 第14回：作品の発表、まとめ ◆授業では、ペアやグループで作文のアイディアを話し合うことがあります。 ◆学期の最後に、自分が書いた中で一番好きな作文を発表します。	
3. 履修上の注意 ・プレイスメント試験の結果、日本語4のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・作文を書く宿題があります。作文の提出日を守ってください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ・作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。 ・フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください。	
5. 教科書 ・プリントをくばります。	
6. 参考書 ・『おしゃべりしながら 書くことを楽しむ 中級作文』, (凡人社), 杉浦千里・木戸光子 ISBN: 978-4893589781 ・『中級日本語学習者対象 小論文への12のステップ』, (スリーエーネットワーク), 友松悦子 ISBN: 978-4883194889 ・『改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編』, (アルク), アカデミック・ジャパニーズ研究会 ISBN : 978-4757426320	
7. 課題に対するフィードバックの方法 ・授業内での説明および Oh-h! Meiji を使ってフィードバックを行います。 ・各課題のフィードバック方法は課題提示時に説明します。	

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

- ていしゅつぶつ かいしやうてん じゆぎやう と
・提出物、作文 80%
・平常点（授業への取り組み） 20%

※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

た
9. その他

- じゆぎやう ないやう りしやうがくせい にんずう りかい きやうみかんしん か
・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- じゆぎやう にほんご そうごう じゆぎやう じゆんびふか にほんご りかい まかい
・この授業では、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

にほんご
日本語5

Japanese 5

科目ナンバ－	(JE) LAN981J
科目名	日本語5（総合）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週 3回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 この授業は、中級レベルの日本語を学ぶ学生がを対象にしています。これまで学んできた文法や語彙を適切に使い、さらにより高度な日本語を理解し、使い、自ら学びつづけられような力を養います。CERR の B1. 2 相当の日本語レベルを目指します。日本社会や文化、世界的な問題をテーマとした教科書（『上級へのとびら』の後半部分）を使って、日本語の運用能力、および、より一般的・専門的な語彙や中級レベルの文法の運用力を総合的に高めます。授業ではテーマに沿ったディスカッションや発表なども行います。積極的に自分の意見を述べ、これまで学んだ日本語を自信をもって活用できるように取り組んでください。また、日本語学習に取り組むだけでなく、日本文化・社会、そして同じクラスの留学生の国や文化・社会に興味を持ち、多様な文化や社会に関する知識も深めください。授業は日本語で行い、3人の教員が担当します。 【到達目標】 1. 日本文化や日本社会・国際社会について書かれた長い文章を読んで、理解することができる。 2. 読んだ内容について自分の国や文化と比較しながら、自分の考えを話すことができる。 3. N3～2レベルの語彙や文法を学び、理解し、適切に使うことができる。また、自分の語彙や文法の間違いを自分で直せる。	
2. 授業内容 第1回：a. イントロダクション（授業についての説明）／b. 第8課『日本の伝統芸能』 第2-6回：第8課『日本の伝統芸能』 第7-11回：第9課『日本の教育』 第12回：復習 第13回：a. 復習テスト（第1回）／b. クラス活動 第14-17回：第10課『日本の便利な店』 第18回：フィールドワーク 第19-20回：第10課『日本の便利な店』 第21-26回：第11課『日本の歴史』 第27回：a. 復習テスト（第2回）／b. クラス活動 第28-33回：第13課『日本人と自然』 第34-40回：第15課『世界と私の国の未来』 第41回：a. 復習テスト（第3回）／b. 総復習 第42回：ふりかえり／クラス活動 ◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。 ◆各課の最後に、課のテーマに関係のある発表や、作品作りがあります。 ◆学期の最後にプレゼンテーションがあります。 ◆この授業では日本語で話す活動が多く行われ、ペアやグループで話す活動が毎回の授業であります。	
3. 履修上の注意 ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語5レベルにプレースされた人が履修できます。 ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。 ◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。 重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。 ◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。 ◆教科書付属のWEBサイト上の教材を活用し、自律的に学習を進めてください。 上級へのとびらサイト： http://tobiraweb.9640.jp/	
5. 教科書 ◆『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、岡まゆみ 他著、（くろしお出版） 978-4-87424-447-0 C0081、3,630円（税込み）	

さんこうしょ 6. 参考書 ひつよう 必要があれば、授業の時に紹介します。 きょうかしよ ふくきょうざい 教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。 じょうきゅう 〇『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』, 岡まゆみ監修, (くろしお出版) 978-4-87424-487-6 C0081, 2,420円(税込) じょうきゅう 〇『上級へのとびら これで身につく文法力』, 筒井通雄監修, (くろしお出版) 978-4-87424-570-5 C0081, 2,420円(税込)
かだい たい ほうほう 7. 課題に対するフィードバックの方法 クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施方法によって、Oh-o!meiji 上もしくは、授業中のフィードバックを行います。
せいせきひょうか ほうほう 8. 成績評価の方法 ひょうかたいしやう わりあい ◆評価対象と割合 ふくしゅう かい ・復習テスト(3回) 60% へいじやうてん かだい ていしゆつ じゆぎやう とく ・平常点(小テスト, 課題の提出, 授業への取り組み) 40% ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。
た 9. その他 じゆぎやう にちじやうてき のうりよく だいがく べんがく ひつよう どっかいのうりよく ごい ひやうげんのうりよく じゆうし ◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。 たか にほんごのうりよくしけん じゆけん ごうかく めざ ◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。 じゆぎやう へいじやうてん かだい ていしゆつ じゆぎやう とく ◆授業のスケジュールおよび内容は、学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。 じゆぎやう じゆんぎふ ふか にほんぶんか にほんご りかい きかい ◆この授業では、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5（読解）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 本クラスは、中級前半の学生を対象にし、日本語学習の中でも特に文章の読み方（読解）を勉強します。読解の力をつけるためには、まず書いた人の考えを読み取り理解する力をつける必要があります。その上で、自分が理解したことを自分の言葉で他の人に伝えることができるようになることも大切です。クラスでは、さまざまなタイプの文章を読みながら、漢字・語彙・文法表現なども確認していきます。 【到達目標】 身近な話題や一般的なメディアで取り上げられている話題、さらには自分の専門分野等に関する記事や文章等について、語彙や文型のコントロールがされていればある程度の長さの文章を読み、理解することができる。 初級レベルの漢字・語彙・文法表現を復習しながら、さまざまな文章を読むことで中級後半、そして上級へとつながる読解力を身につける。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション 最新の記事を読む（1）漢字・語彙・内容の確認 ―やさしい日本語ニュース→NHK NEWSWEB ニュース 第2回：日本語のエッセーを読む（1-1）漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認 第3回：日本語のエッセーを読む（1-2）漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用 第4回：最新の記事を読む（2）漢字・語彙・内容の確認 ―やさしい日本語ニュース→NHK NEWSWEB ニュース 第5回：日本語の資料（グラフ）を読み取る（1）漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認 第6回：日本語の資料（グラフ）を読み取る（2）漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用 第7回：日本語のエッセーを読む（2-1）漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認 私のお勧めの文紹介1（ペアで確認）準備 第8回：日本語のエッセーを読む（2-2）漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用 私のお勧めの文紹介1発表 第9回：日本語のエッセーを読む（3-1）漢字・語彙・文法の確認・文章の型・内容確認 第10回：日本語のエッセーを読む（3-2）漢字クイズ・文法の練習・語彙の運用 第11回：最新の記事を読む（3）漢字・語彙・内容の確認 ―やさしい日本語ニュース→NHK NEWSWEB ニュース 第12回：私のお勧めの文紹介2 準備1（ペアで確認） 第13回：期末試験 私のお勧めの文紹介2（ペアで確認） 準備2 第14回：期末試験フィードバック・私のお勧めの文紹介2 発表・ふりかえり	
3. 履修上の注意 積極的に授業に参加すること。 クラスでは、新聞記事、ネット記事、エッセーなどを読むので、辞書を持ってくるください。 プレースメントテストの結果、日本語5のレベルにプレースされている学生が履修できます。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ・授業後は、きちんと復習してください。前回勉強した内容から毎回クイズがあるので、必ず準備すること。 ・各読み物の読解が終わった後は、漢字・文法・要約などの課題を出します。（約30分～1時間相当）	
5. 教科書 授業時にハンドアウトを配布	
6. 参考書 授業時に指示	
7. 課題に対するフィードバックの方法 各課題のフィードバックは、実施後、授業内で行います。	

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

しょう 小テスト・課題（50%） しょう 小テストは、まいかいじゅぎょうかいしとき じっし
きまつしけん 期末試験（30%）、じゅぎょう 授業への参加度およびへいじょうてん 平常点（20%）

※この授業の単位を取るためには、2/3以上のいじょう 出席が必要です。

ちこく 遅刻・そうたい 早退は30分まで。それ以上はいじょう 欠席 扱い。）

た
9. その他

- じゅぎょう 授業のスケジュールおよび内容は、ないよう 履修学生の人数、りかい 理解、きょうみかんしん 興味関心などによりかわることがあります。
- じゅぎょう 授業では、「にほんご 日本語（総合）」のじゅぎょう 授業とあわせて、フィールドワークやじゅんび 準備があります。より深くにほんぶんか 日本文化やにほんご 日本語を理解する機会として、せつぎよくてき 積極的に取り組んでください。
- きほんてき 基本的には、ぜんしゅつせきぜんてい 全出席前提でじゅぎょう 授業をします。なるべくちこく 遅刻・けつせき 欠席はしないようにしてください。
ちこく 遅刻・けつせき 欠席したときは、自分で次のクラスまで何をすべきかをかくにん 確認し、じゅんび 準備してしゅつせき 出席してください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語5（口頭表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標	
【概要】 中級前半レベルの学生を対象として、口頭表現力の向上を目指します。身近な話題、自分の専門分野や興味のある話題についてスピーチやディスカッションをします。また、日本人学生に複数回参加してもらい、実践的な会話練習をします。	
【到達目標】 1. 一般的な話題や自分の専門分野等について、準備をして、事実や意見とその理由等を、まとまりのある談話で話すことができるようになる 2. 発話をモニタリング、修正しながら日常的な会話ができるようになる。	
2. 授業内容	
第1回：イントロダクション、「自己紹介」準備 第2回：「インタビュー」準備 第3回：「自己紹介」「インタビュー」実践（日本人ボランティアとペア、またはグループで活動） 第4回：「インタビュー」振り返り、発表（クラスメイトの前で発表） 第5回：「スピーチ1（好きなものを紹介する）」準備 第6回：「スピーチ1」練習（日本人ボランティアとペアで練習） 第7回：「スピーチ1」発表（日本人ボランティアとクラスメイトの前で発表） 第8回：「スピーチ1」振り返り、「ディスカッション」準備 第9回：「ディスカッション」練習（クラスメイトとグループで活動） 第10回：「ディスカッション」実践（日本人ボランティアを含むグループで活動） 第11回：「ディスカッション」振り返り、「スピーチ2（意見を言う）」準備 第12回：「スピーチ2」練習（日本人ボランティアとペアで練習） 第13回：「スピーチ2」発表（日本人ボランティアとクラスメイトの前で発表） 第14回：「スピーチ2」振り返り（日本人ボランティアを含むグループで活動）	
3. 履修上の注意	
・プレイスメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・日本人学生の参加を7回予定しています。初対面の人と話すことが多くなるかもしれませんが、積極的に参加してください。 ・自分の発話をスマートフォンなどで録音・録画して、振り返りをします。 ・授業開始時に1分スピーチや発音練習を行います。遅刻しないようにしてください。 ・授業を欠席するときは必ず教師に連絡をして、次回までにしておくことの指示をうけてください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容	
次回の準備のための課題と、実践・発表を振り返るための課題を出します。 ・準備：インタビューやスピーチなどの準備をして、話す練習をする。 ・復習：発話の録音を聞いたり、録画を見たりして、振り返りシートを書く。	
5. 教科書	
教科書はありません。プリント教材を配布します。	
6. 参考書	
『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』（凡人社）、黒崎典子（くろさきのりこ）編著	
7. 課題に対するフィードバックの方法	
原則、教室でフィードバックを行います。 ただし、準備の課題については、Oh-o!Meiji でフィードバックすることもあります。	

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

- ・インタビュー、スピーチ、ディスカッションの実践じっせん：50%
- ・平常点へいじょうてん（課題かだいの提出ていしゅつ，1分スピーチふん、授業じゅぎょうへの取り組みとく）：50%

※この授業じゅぎょうの評価ひょうかを得るためには、2/3以上の出席しゅつせきが必要です。

た
9. その他

- ・授業じゅぎょうのスケジュールおよび内容ないようは、履修学生りしゅうがくせいの人数にんずう、理解りかい、興味関心きょうみかんしんなどにより変わることがあります。
- ・この授業じゅぎょうでは、「日本語にほんご（総谷そうご）」の授業じゅぎょうとあわせて、フィールドワークや準備じゅんびがあります。より深くふか日本文化にほんぶんかや日本語にほんごを理解りかいする機会きかいとして、積極的せつせきに取り組んでください。

科目ナンバ－	(JE) LAN981J
科目名	日本語5（文章表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 中級レベルの学生が、文体や構成を考えながら書く能力を身に付けます。授業では書く前にテーマについて話し合う時間を設け、意見をまとめ、構成を考えます。書いた作文は翌週に授業時間内で発表し、その内容について質問や感想を受けます。テーマは自分自身に関係のあるものから一般的、専門的な話題まで扱います。 【到達目標】 日本語でまとまった量（600～800字程度）の作文が書けるように練習します。意見文などの論理的な文章について、わかりやすい構成を考え、読む人が理解しやすい文章を書くのを目標にします。各テーマに合った文章の表現についても学びます。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション 自己紹介文を書こう 発表 第2回：体験文1 「子どものころの私」 第3回：体験文1 口頭発表 フィードバック 課題 第4回：体験文2 「日本に来て大変だったこと」 第5回：体験文2 口頭発表 フィードバック 課題 第6回：情報文1 「日本のおすすめの場所」（または「明治大学から歩いて10分以内にあるおすすめ場所」） 第7回：情報文1 口頭発表（プレゼンテーション） フィードバック 課題 第8回：情報文2 「おすすめ映画」 第9回：情報文2 口頭発表 フィードバック 課題 第10回：状況をもとにした意見文 「私の外国語学習方法」 第11回：状況をもとにした意見文 口頭発表 フィードバック 課題 第12回：テーマに沿った意見文 「世界の問題とその解決策」 第13回：テーマに沿った意見文 リライト 第14回：テーマに沿った意見文 口頭発表 フィードバック まとめ等 テーマごとに1回グループワークがある	
3. 履修上の注意 ・プレースメント試験の結果、日本語5のレベルにプレイスされている学生が履修できます。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 毎回のテーマに沿った文章を書いてください。直された作文は必ず見て、確認してください。また、授業中に文章の表現を学ぶための課題をしてください。	
5. 教科書 プリント教材を配布します。	
6. 参考書 必要に応じて資料を配布します。	
7. 課題に対するフィードバックの方法 作文の課題を提出してください。間違えたところをハイライトして返します。文法、表記の間違いを直して再提出してください。	
8. 成績評価の方法 作文提出（70%）、平常点（普通の授業での活動、課題）（30%）により評価します。出席が2/3以上でなければ評価は出しません。	
9. その他 授業のスケジュールは、人数によって変更することがあります。この授業は対面授業の場合、「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。	

にほんご
日本語6

Japanese 6

科目ナンバ－	(JE) LAN981J
科目名	日本語6（総合）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週 3回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 この授業は、中級後半レベルの学生を対象にしています。教科書『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』の自然な日本語で書かれた様々なテーマの文章を題材に、日本語での話す・書く・読む・聞くの能力、語彙や文法の運用力を総合的に高めます。CEFR の B1.2相当で、その中でも特に高いレベルの日本語力を目指します。授業は3人の教員が担当します。 【到達目標】 1. 言語のコントロールの少ない、一般的・社会的な話題の文章を読んで、筆者の意見を理解し、文章の流れや要点が理解できる。 2. 読んだ文章に対する自分の意見や考えを、まとまりのある談話で、適切な文法や語彙を使って述べられる。 3. テーマに関わる文型・表現・語彙を学び、理解し、使うことができる。また、言い換えをしたり、自分の語彙や文法の間違いを自分で直したりすることができる。	
2. 授業内容 【授業の進め方】 第1回：イントロダクション（授業についての説明） 第2-6回：ユニット1「自己紹介と本当の自分」 第7-12回：ユニット4「ことばと文化」 第13回：復習 第14回：a. 復習テスト（第1回）／b. クラス活動 第15-20回：ユニット5「心と体のバランス」 第21-26回：ユニット6「働くということ」（インタビュー活動） 第27回：復習 第28回：a. 復習テスト（第2回）／b. クラス活動 第29-34回：ユニット9「食の共同性」 第35-40回：ユニット10「笑いのちから」 第41回：復習 第42回：a. 復習テスト（第3回）／b. クラス活動 ◆授業の詳しいスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。 ◆授業のスケジュールは、変更する場合があります。 ◆この授業では、ほぼ毎回、ペアやグループでの活動（ディスカッション、学び合い）があります。 ◆日本人へのインタビュー活動があります（ユニット6） ◆授業中には、日本語で発言することが多く求められます。積極的に日本語を使ってください。	
3. 履修上の注意 ・この科目はプレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレースされた人が履修できます。 ・週3回の授業すべてに出席しなければなりません。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ◆効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。 ◆予習：毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。 重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。クイズの準備をする。 ◆復習：毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。 ◆教科書に対応した音声アプリも活用し、自律的に学習を行ってください。	
5. 教科書 ◆『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修他著, The Japan Times 978-4-7890-1462-5 3,520円（税込） ◆『新・中級から上級への日本語 ワークブック』鎌田修監修, The Japan Times 978-4-7890-1540-0 1,980円（税込）	
6. 参考書 必要があれば、授業の時に紹介します。	

7. 課題に対するフィードバックの方法

クイズ、宿題、テスト等のフィードバックは、実施後に Oh-o!meiji 上もしくは、授業中にフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

◆評価対象と割合

- ・復習テスト（3回）60%
- ・平常点（小テスト、課題の

提出、授業への取り組み） 40%

◆出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

9. その他

◆授業では、日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

◆より高いレベルの日本語能力試験の受験・合格も目指しましょう。

◆この授業では、対面授業時には「フィールドワーク」を実施する可能性があります。東京都内の様々な場所を実際に訪れて見学、体験することを通して、より深く日本や日本語を理解しましょう。そのための事前準備にも積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6（読解）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【概要】 中級後半の学生を対象にし、一般的・社会的な話題や、自分の専門分野について、言語のコントロールの少ない文章を読み、さらに教師やクラスメイトのサポートで分析的に読む活動を行う。同時に速読練習を行い、読む力を補う。テーマを選択し読み、発表する。 【到達目標】 身近な話題や一般的なメディアで取り上げられている話題、さらには自分の専門分野等に関する記事や文章（エッセイ・論説文・記事・講義資料・学術資料などの言語コントロールの少ない文章）について、教師のサポートがあればある程度の長さの文章を読み、理解することができる。初級レベル～中級前半の漢字・語彙・文法表現を復習しながら、さまざまな文章を読むことで中級後半、そして上級へとつながる読解力を身につける。	
2. 授業内容 第1回：オリエンテーション 文を理解するストラテジー（語のまとまりをとらえる） 授業の説明・学習計画を立てる・レベルチェック・今学期の課題の説明 HW: 文作リシート① 第2回：文を理解するストラテジー（「する／される」の関係をつかむ） 読解文や記事を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。主語と述語の対応を学ぶ。 HW: 文作リシート② 第3回：文を理解するストラテジー（文の構造をとらえる） 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習をし、問題を解く。文の構造を理解する。 文作リシート①クイズ HW: 文作リシート③ 第4回：文を理解するストラテジー（複文1） 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 1文の中の前件と後件の関係をつかむ。 文作リシート②クイズ HW: 文作リシート④ 第5回：文を理解するストラテジー（複文2） 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 1文の中の前件と後件の関係をつかむ。 文作リシート③クイズ HW: 文作リシート⑤ 第6回：文の連続を理解するストラテジー（指示詞） 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 文中の指示詞が指す内容を考えながら読む。 文作リシート④クイズ HW: 文作リシート⑥ 第7回：文の連続を理解するストラテジー（省略されているものは何か） 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 省略されているものは何か考える。 文作リシート⑤クイズ HW: 文作リシート⑦	

だい かい ぶん れんぞく りかい かんれん ことば さがす 第8回：文の連続を理解するストラテジー（関連のある言葉を探す） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 ぶん 文のキーワードとなる言葉を見つける。 ぶんづく 文作りシート⑥クイズ ぶんづく HW: 文作りシート⑧
だい かい ぶんしょう てんかい りかい ぶんまつひょうげん ひつしゃ いけん みぬ 第9回：文章の展開を理解するストラテジー（文末表現から筆者の意見を見抜く） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 ぶん 文のキーワードとなる言葉を見つける。 ぶんづく 文作りシート⑦クイズ ぶんづく HW: 文作りシート⑨
だい かい ぶんしょう てんかい りかい ひつしゃ たちば みわ 第10回：文章の展開を理解するストラテジー（筆者の立場を見分ける） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 ぶんづく 筆者の立場を見分ける。 ぶんづく 文作りシート⑧クイズ ぶんづく HW: 文作りシート⑩
だい かい ぶんしょう てんかい りかい たいせつ つた 第11回：文章の展開を理解するストラテジー（大切なことを伝えるサインをつかむ） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 たいせつ つた 大切なことを伝えるサインを使って文章の展開をつかむ。 ぶんづく 文作りシート⑨クイズ ぶんづく HW: 文作りシート⑪
だい かい ぶんしょう てんかい りかい めじるし つか ないよう せいり 第12回：文章の展開を理解するストラテジー（目印を使って内容を整理する） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 めじるし ひょうげん ちやくもく 目印の表現に着目する。 ぶんづく 文作りシート⑩
だい かい ちしき つか りかい ないよう すばやく りかい 第13回：知識を使って理解するストラテジー（内容を素早く理解する） どっかいぶん しんぶん よ 読解文や新聞を読んで、グループまたはペアで話し合いをし、単語、文型練習、問題を解く。 そくそく 速読のストラテジー。 ぶんづく 文作りシート⑪
だい かい きまつしけん 第14回：期末試験 どっかいりよく ぶんぽうりよく かくにん 読解力・文法力の確認
りしゅうじょう ちゅうい 3. 履修上の注意 せつぎよくてき じゆぎょう さんか - 積極的に授業に参加すること。 - クラスでは、新聞記事、ネット記事、エッセーなどを読むので、辞書を持ってくる。 - プレースメント試験の結果、日本語6のレベルにプレースされている学生が履修できます。 30分以上の遅刻、早退は欠席とする。 - 毎回課題を授業時に配布（または0h-o! Meiji にアップ）ので、期限までに提出すること。 - 欠席・遅刻・早退をしたときに行ったクイズは、後からは受けられない。
じゆんびがくしゅう よしゅう ふくしゅうなど ないよう 4. 準備学習（予習・復習等）の内容 じゆぎょうご ふくしゅう ぜんかいべんきょう ないよう まいかい - 授業後は、きちんと復習してください。前回勉強した内容から毎回クイズがあるので、必ず準備すること。 - 各読み物の読解が終わった後は、漢字・文法・要約などの課題を出します。（約30分～1時間相当）
きょうかしよ 5. 教科書 りゅうがくせい だっかい ほんじんしゃ いし ぐろけいへんちやう ねん 『留学生のための読解トレーニングー読む力がアップする15のポイントー』（凡人社） 石黒圭編著 2019年 ISBN 978-4-89358-780-0
さんこうしよ 6. 参考書 じゆぎょうし しじ 授業時に指示
かだい たい ほうほう 7. 課題に対するフィードバックの方法 かくかだい りゅうしご じゆぎょうない おこな 各課題のフィードバックは、実施後、授業内で行います。

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

- ・授業参加度 10%
- ・課題提出 30%
- ・クイズ 40%
- ・期末テスト：20%

た
9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、レベル、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・基本的には、全出席前提で授業をします。なるべく遅刻・欠席はしないようにしてください。
もしもし遅刻・欠席したときは、自分で次のクラスまで何をするべきかを確認し、準備して出席してください。
- ・この授業では、「日本語6（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。
より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6（口頭表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標	
【概要】 この授業では、自分の関心のある身近な話題や、専門分野・社会的な話題をテーマにグループで話し合い、それをもとに個人またはグループでショートプレゼンテーションを行います。また、日本人学生に参加してもらい、インタビューや質疑応答などを行います。その他、授業の最初に発音練習やメモを見て話す練習などを行います。 レベルは、CEFR の B1.2相当で、中でも特に高いレベルの日本語力を目指します。	
【到達目標】 ・まとまりのある談話で、要点をおさえた発表をすることができる。 ・他者の発表について主体的に意見や考えをもち、それを話すことができる。 ・発表や、やりとりをすることに自信がもてる。	
2. 授業内容	
第1回：イントロダクション、テーマ1「身近なものの紹介」準備 第2回：テーマ1「身近なものの紹介」発表 第3回：テーマ2「映画レビュー」準備 第4回：テーマ2「映画レビュー」発表 第5回：テーマ3「日本人学生インタビュー」インタビュー準備 第6回：テーマ3「日本人学生インタビュー」インタビュー 第7回：テーマ3「日本人学生インタビュー」発表練習、質疑応答準備 第8回：テーマ3「日本人学生インタビュー」発表 第9回：テーマ4「CM分析」準備 第10回：テーマ4「CM分析」発表 第11回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」準備 第12回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」ディスカッション 第13回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表練習、質疑応答準備 第14回：テーマ5「訪日外国人向けツアー企画」発表、振り返り	
3. 履修上の注意	
・プレースメント試験の結果、日本語6のレベルにプレイスされている学生が履修できます。 ・毎回グループ活動を行います。グループ活動や発表を中心に授業を進めるので、積極的な参加を期待します。 ・日本人学生が複数回ゲストとして参加します。 ・自分の発表をスマートフォンなどで録画して、振り返る課題を課します。 ・準備回を欠席した時は、Oh-o! Meiji より該当するテーマのハンドアウトを取得し、次回までに発表の準備をしてください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容	
次回の準備のための課題と、発話を振り返る課題を出します。 ・準備：インタビューやスピーチができるように、原稿やスライドを準備し、話す練習をします。 ・振り返り：発表時の動画を見て、振り返りシートを書きます。	
5. 教科書	
教科書はありません。ハンドアウトを配布します。	
6. 参考書	
『伝わる発音が身につく！日本語話し方トレーニング 中・上級レベル』（アスク）中川千恵子ほか	
7. 課題に対するフィードバックの方法	
各発表について、教室または Oh-o! Meiji で教師からルーブリック評価票を渡します。	
8. 成績評価の方法	
評価項目と割合は以下の通りです。 ○発表回数（50%） 全5回の発表のうち、発表をした回数と振り返りシートの提出回数から算出します。 ※発表の後で振り返りシートを提出 ○発表内容（50%）	

主に以下 A～E の要素から評価し、最終的に全発表の平均から算出します。 A. 内容 B. 構成・流れ C. ことば D. 発音・なめらかさ E. 身体動作（表情、目線、手振り） ※この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。
9. その他 ・授業のスケジュールや内容、発表形式は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。 ・この授業では「日本語6（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークや準備があります。より深く日本文化や日本語を理解する機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(JE) LAN981J
科目名	日本語6（文章表現）
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 この授業は、中級後半（CEFR のB1.2相当）、その中でも特に高いレベルの書く力の向上を目指す。 一般的・社会的なテーマや自分の専門分野の具体的、抽象的なテーマを取りあげて、読み手を意識した1000字程度の文章を書く。 具体的には、書き言葉として適切な表現・文型・語彙を用いて、論拠を示しながら、論理的で段落構成が整った文章を書きあげる。 【到達目標】 (1) 人の記憶に残る自己紹介文、人に伝わる他者紹介文が書けるようになる。 (2) 大学の教員に、要件に応じたメールが書けるようになる。 (3) 最も伝えたい実体験を400字～600字程度にまとめ、新聞に投稿できるようになる。 (4) 資料の収集方法、要約方法、引用方法、参考文献リストが書けるようになる。 (5) 引用と意見の区別を理解し、800～1200字程度の論理的な文章が書けるようになる。 (6) レポートをパワーポイントにまとめ発表し、質疑応答ができるようになる。	
2. 授業内容 第1週：オリエンテーション&自己・他者紹介（ペアワーク） 第2週：メールの書き方（ピアリーディング） 第3週：新聞投稿①（グループワーク） 第4週：新聞投稿②（ピアリーディング） 第5週：新聞投稿③ 第6週：ディスカッション（AI および ChatGPT の是非） 第7週：書き言葉&記号&Wordの書式 第8週：レポート① 第9週：レポート②（グループワーク） 第10週：レポート③（ピアリーディング） 第11週：レポート④ 第12週：発表①（PPT作成） 第13週：発表②（リハーサル） 第14週：発表③（本番&質疑応答）	
3. 履修上の注意 (1) この授業は、プレースメントテストの結果、日本語6レベルにプレイスされた学生のみ履修可。 (2) この授業ではほぼ毎週書く作業があるため、必ずノートパソコンを持参すること。 (3) 事前に、「Microsoft365（Office）利用マニュアル」[url]https://www.meiji.ac.jp/isc/msca/of365.html[url]より、WordやPowerPoint等をオフラインで使えるようにダウンロードしておくこと。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ほぼ毎週、授業で取りあげたテーマについて書く課題がある。 ※ 課題の締め切りは厳守すること。締め切りに遅れて提出した課題の成績は50%とする。	
5. 教科書 教員が作成したレジュメを配布する。	
6. 参考書 必要に応じて授業中に紹介する。	
7. 課題に対するフィードバックの方法 Wordファイルを用いた課題は、ファイルにコメントに記入し、Oh-o! Meiji経由で返却する。 その他Oh-o! Meijiのシステムを利用して、あるいは、授業中にフィードバックを行う	

せいせきひょうか ほうほう
8. 成績評価の方法

- (1) じ こ たしやしょうかい 自己・他者紹介 & メール：10%
- (2) しんぶんとうこう 新聞投稿：20%
- (3) レポート：40%
- (4) はっぴょう 発表：20%
- (5) こうけんど 貢献度：10%

※ この授業は、評価を得るために 2/3 以上の出席が必要である。

た
9. その他

- (1) この授業は、「日本語（総合）」の授業と合わせて、フィールドワークやその準備をする可能性がある。
より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組むこと。
- (2) 授業の進行および内容は、履修者の人数、理解度、興味・関心等により変わる場合がある。

に ほ ん ご
日本語C

だいがくいんせい たいしょう
(大学院生のみ対象)

Japanese C

(Subjects for Graduate School Students)

科目ナンバー	(JE) LAN986J
科目名	日本語 C（中 級）〔M〕
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週 1回
1. 授業の概要・到達目標 【授業の概要】 この授業では大学院での研究に必要な中 級レベルの日本語力や、就職活動や卒業後のキャリアでも活用できる日本語運用力を身につけることが目標です。 そのために、授業ではプレゼンテーションをし、小論文やミニレポート等を書く練習をします。 また、様々なビジネス場面での適切な話し方を、ロールプレイ等を通して練習します。 授業は基本的にオンラインで行います。 【到達目標】 - 教科書や資料を参考にしたが、適切な語彙や表現を用いて小論文やレポートを書いたり、プレゼンテーションをしたりできる。 - 就職活動や仕事の場面で適切な日本語表現を学び、それを使って話したり、書いたりできる。	
2. 授業内容 【授業スケジュール】 第1回 オリエンテーション、日本語力のレベルチェック 第2回 メールの書き方 第3回 アカデミック・ライティング① 第4回 アカデミック・ライティング② 第5回 アカデミック・ライティング③ 第6回 アカデミック・ライティング④、プレゼンテーション準備① 第7回 アカデミック・ライティング⑤、プレゼンテーション準備② 第8回 アカデミック・ライティング⑥、プレゼンテーション準備③ 第9回 プレゼンテーション 第10回 敬語の復習、ビジネス日本語① 第11回 ビジネス日本語② 第12回 ビジネス日本語③ 第13回 ビジネス日本語④ 第14回 ビジネス日本語⑤、ふりかえり、まとめ - 授業の詳細いスケジュールは、第1回目のイントロダクションで説明します。 - 授業内でペアワーク・グループワークを行います。積極的に参加してください。 - 授業のスケジュールは、変更する場合があります。	
3. 履修上の注意 - この科目はプレースメントテストの結果、日本語4/5/6 レベルと判定された人が履修できます。 - この授業を取りたい人は、必ず1回目の授業に参加してください。 - オンライン授業では、通信が安定した静かな環境で、カメラとマイクをオンにできるようにして参加してください。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 - 予習：毎回1～2時間 次の回の授業範囲の単語の意味や漢字の読み方を確認し、学習内容を確認する。 - 復習：毎回30分～1時間 その回で学習した内容の復習、学習項目の整理。 - 授業が理解できるよう、必ず、十分予習をして参加してください。	
5. 教科書 授業の前に教材を配布します。	
6. 参考書 『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』（2020）伊集院郁子、高野愛子、ask 『にほんごで働く！ビジネス日本語30時間』（2009）宮崎道子、郷司幸子、スリーエーネットワーク 『20 の場面で学ぶ敬語コミュニケーション―気持ち伝わる中 級からの日本語待遇表現』（2024）アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、ジャパンタイムズ出版	

7. 課題に対するフィードバックの方法

授業時間内、または、Oh-o!Meiji やドライブ上で共有してフィードバックを行います。

8. 成績評価の方法

レポート/小論文30%、プレゼンテーション 20%、ビジネス日本語課題（提出物・ロールプレイ等）40%、平常点（クラス参加度等）10%

* この授業の評価を得るためには、2/3以上の出席が必要です。

9. その他

- ・授業のスケジュールおよび内容は、履修学生の人数、理解、興味関心などにより変わることがあります。
- ・大学院の研究や授業のスケジュールをよく確認して履修してください。
- ・授業では積極的に発言したり、応答したりしてください。